

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	保健体育総務運営事務事業	担当課・係名	スポーツ健康課 スポーツ推進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	19
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町民の健康づくり、社会体育活動を推進するため、関係機関との連絡調整を行うとともにスポーツ団体等への補助を行う				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	スポーツ基本法や国や県の計画や指針に基づき策定した大磯町スポーツ推進計画を実施するため、町のスポーツ教室事業の委託及びレクリエーション協会・スポーツ少年団への支援や、町のスポーツ推進、競技力の向上及び町民のスポーツ活動の高揚のためにスポーツ表彰を行う				
根拠法令・条例等	スポーツ基本法、大磯町スポーツ表彰要綱、大磯町スポーツ少年団活動事業補助金交付要綱、大磯町レクリエーション普及事業補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	276	481	642
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	276	481	642
	職員人数 (概算職員数)	人			0.40
	人件費計 (b)	千円			2,451
総事業費 (a)+(b)	千円	276	481	3,093	
事業費内訳 H 25 年度	報酬：56千円 旅費：4千円 需用費：140千円 役務費：26千円 委託料：100千円 使用料及び賃借料：203千円 負担金補助及び交付金：113千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① スポーツ少年団	団体	5	4	4
	②				
活動指標 (活動量)	① 教室開催数	回	57	68	104
	② スポーツ少年団員数	人	252	187	190
成果指標 (達成度等)	① 教室参加人数	人	797	787	1,180
	② スポーツ少年団活動件数	回	111	109	95

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町が国や県との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、地域の特性に応じたスポーツ施策を策定し、実施する責務がある。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町がスポーツ推進活動を効率的に行うため、民間団体へ教室の委託や青少年を対象とする団体への補助金を支出している。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 町民のだけれども、いつでも、どこでも、気軽にスポーツや健康づくりに取り組むことができる環境づくりを町民と協働して推進している。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 大学や民間企業の協力によるスポーツ教室の開催を事業内に効率的に取り込んでいる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 公用車のリース化、スポーツ推進審議会運営事業の統合により予算額があがっている。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 町民の健康づくり、社会体育活動を推進するため、事業を実施している。団体においても生涯スポーツ社会の実現のため、自主的活動を展開している。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	補助団体の自主的な事業の推進や総合型スポーツクラブとの連携。スポーツ少年団の加入団体の増による青少年の育成。
② 平成26年度に着手する事項	補助団体の自主的な事業の推進や総合型地域スポーツクラブとの連携。
③ その他（課題、調整事項等）	様々なニーズに応じたスポーツ教室をスポーツ関係団体や民間スポーツクラブなどと協力して推進する。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

スポーツに対する町民の関心を高めるとともに、選手の士気高揚のため、スポーツ表彰を行う。スポーツ関係団体や民間スポーツクラブ等との連携によりスポーツ教室を開催する。
